



中田小

平成29年1月10日

学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

『スキー』

作詞：時雨音羽

作曲：平井康三郎

山は白銀
朝日を浴びて
すべるスキーの風切る速さ
飛ぶは粉雪か 舞い立つ霧か
おおお
この身もかけるよかける

真一文字に
身をおどらせて、
さっと飛び越す飛鳥の翼
ぐんとせまるは ふもとか谷か
おおお
たのしや 手練の飛躍

風をつんざき
左へ右へ
飛べはおどれば 流れる斜面
空はみどりよ 大地は白よ
おおお
あの丘われらを招く



「シビックプライド」

校長 蒲谷 猛

今年、新年を白馬のゲレンデカウントダウンで迎えました。昨年は、『アルツ磐梯』でしたが、土地土地によってカウントダウンイベントにも特徴があるものです。イベント自体の内容には、そう違いはありませんが、空気感というのか、全体としての印象が違います。流れてくる言葉だったり、進行のテンポだったり、スタッフの対応だったり、形では見えないものから生まれてくるように思いました。

今年の白馬は雪は少なかったのですが、スキーだけでなく、湯・酒・肴でも心から楽しめたのは、やはり、出会った人々から、自分の地元のよさをぜひ知ってほしいという熱い思いに触れることができたからでしょう。

「シビックプライド」という言葉があります。『まち』に対する市民の誇り」のことだそうです。もともとはイギリス発祥の言葉ですが、この「シビックプライド」とは単なる「まち自慢」ではなく、「ここをより良い場所にするために自分自身がかかわっている、というある種の当事者意識に基づく自負心」なのだそうです。白馬で出会った人々から伝わってきたのはきっとこれだったのですね。

旅行中には、特徴ある「動物に注意」の道路標識を見ては、野生の動物との出会いを期待して盛り上がっていましたが、残念ながら会うことはできませんでした。ところが、帰路も終盤、泉警察署の方から弥生台に向かっていると、目の前を二匹のタヌキが横切っていました。何だかうれしくなりました。

子どもたちの愛校心や郷土愛をはぐくみたい。今年度の重点課題の一つでもあり、三校連携9年間で育てたい姿の一つでもあります。自分たちの学校のよさや『まち』のよさに気付くだけでなく、その維持や発展に自分が何かしらかかわっているという実感をもつことができれば素晴らしいことです。中田の『まち』の「ひと・もの・こと」との出会いによって、子どもたちの心は揺さぶられます。このような出会いを大切にしたい教育活動を一層充実させなければと、思いを新たに新年頭となりました。

今年も、教職員一丸となって、教育活動の一層の充実邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。